

# 宮崎県感染症週報

## ■ 宮崎県第9週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は1,698人(定点あたり45.9)で、前週比92%と減少した。

前週に比べ増加した主な疾患は流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱とインフルエンザであった。

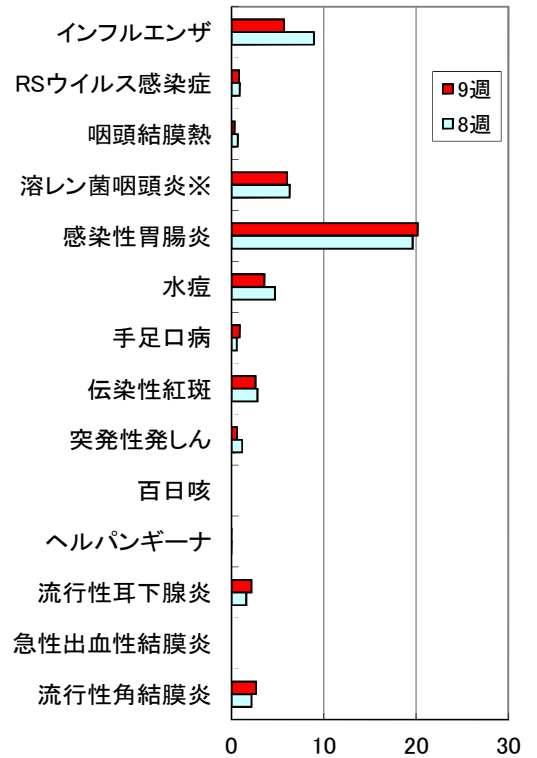
流行性耳下腺炎の報告数は78人(2.2)で前週比134%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(1.6)の約1.4倍と多い。日南(9.7)保健所からの報告が多く、年齢別では4歳から7歳で全体の約6割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は727人(20.2)で前週比103%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点あたり平均値(16.5)の約1.2倍である。県全体で警報レベルを超えており、日南(29.7)、小林(27.3)、都城(26.7)保健所からの報告が多かった。年齢別では1歳から4歳で全体の約半数を占めた。

インフルエンザの報告数は336人(5.7)で前週比64%と減少した。中央(12.0)、宮崎市(8.5)、延岡(7.6)保健所からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の32%、6-9歳が37%、10-14歳が17%、15-19歳が2%、20-50歳代が11%、60歳以上が1%を占めた。

クラミジア肺炎1人が高鍋保健所から報告された。患者は60歳代の女性で、原因菌は *Chlamydomphila pneumoniae* であった。

《前週との比較》



《定点あたり報告数》  
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## □ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報 開始基準値	定点あたり報告数		年 齢 分 布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	6.1	延岡(25.8)、日南(13.3)	3歳~7歳で全体の約8割を占めた。
感染性胃腸炎	20	20.2	日南(29.7)、小林(27.3)、都城(26.7)、延岡(26.5)、中央(26.0)	1歳~4歳で全体の約半数を占めた。
水痘	7	3.6	高鍋(7.8)	1歳~4歳で全体の約8割を占めた。
伝染性紅斑	2	2.6	高鍋(6.3)、宮崎市(4.6)、延岡(2.3)、高千穂(2.0)	3歳~6歳で全体の約6割を占めた。
流行性耳下腺炎	6	2.2	日南(9.7)	4歳から7歳で全体の約6割を占めた。

□ 感染性胃腸炎の集団発生（平成23年2月28日～平成23年3月6日まで）

保健所名	施設の種別	件数
小林	老人福祉関係施設	1

■ 病原体情報（衛生環境研究所 微生物部）

□ ウイルス（平成23年2月22日～平成23年3月7日までに検出）

同定ウイルス名	年齢	性	採取日	臨床症状	材料	検出日
単純ヘルペスウイルス1型	2	女	2.7	多形紅斑、40℃、熱性けいれん、上気道炎、発疹、リンパ節腫脹、口唇に膿疱	咽頭ぬぐい液	2.28
インフルエンザAH1pdm型	58	男	2.15	インフルエンザ肺炎疑い、40℃、下気道炎（肺炎）、ショック症状（低血圧）	鼻汁 気管吸引液	2.22
インフルエンザAH3型	73	女	2.14	インフルエンザ、38.6℃、咳、鼻汁	鼻汁	2.22
インフルエンザAH3型	65	男	2.15	インフルエンザ、38.3℃、関節痛、咳、鼻水	鼻汁	2.22
インフルエンザAH1pdm型	80	男	2.16	インフルエンザ、38.3℃、鼻水	鼻汁	2.22
インフルエンザAH1pdm型	28	女	2.18	インフルエンザ、38.1℃	鼻腔ぬぐい液	2.22
インフルエンザB型	26	女	2.19	インフルエンザ、39.1℃、関節痛、咽頭炎、咽頭痛	咽頭ぬぐい液	2.22
インフルエンザAH3型	35	女	2.24	インフルエンザ、37.0℃、咽頭痛、頭痛、鼻汁	鼻汁	3.1
インフルエンザはリアルタイムPCR法で検出						

○多形紅斑の幼児から単純ヘルペスウイルス1型（HSV-1）が分離された。HSV-1は主に口唇ヘルペスを生じ、ヘルペス口内炎、ヘルペス角膜炎、単純ヘルペス脳炎の原因となりうるとともに三叉神経節に潜伏感染する。

○インフルエンザの患者からインフルエンザAH1pdm（新型）3例、インフルエンザAH3（A香港型）3例、インフルエンザB1例が検出された。

□ 細菌（平成23年2月22日～平成23年3月7日までに検出）

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	検出日
<i>Bordetella holmesii</i>	10代後半	男	2011.1.6	スタックカート(+)、ウーブ(+)	鼻汁	2011.1.18
<i>Bordetella pertussis</i> （百日咳菌）	10代前半	男	2011.2.7	スタックカート(+)、レプリーゼ(+)	鼻汁	2011.3.7
<i>Bordetella pertussis</i> （百日咳菌）	30代前半	男	2011.2.10	スタックカート(+)、レプリーゼ(+)	鼻汁	2011.2.25
<i>Bordetella pertussis</i> （百日咳菌）	10代前半	女	2011.2.16	百日咳、気管支炎、スタックカート(+)、ウーブ(+)	鼻汁	2011.3.1
<i>Bordetella pertussis</i> （百日咳菌）	60代前半	男	2011.2.21	百日咳疑、気管支炎、スタックカート(+)、ウーブ(-)	鼻汁	2011.3.1
<i>Bordetella pertussis</i> （百日咳菌）	10代後半	女	2011.2.22	百日咳疑、気管支炎、スタックカート(+)、ウーブ(+)	鼻汁	2011.3.1
<i>Bordetella pertussis</i> （百日咳菌）	10代前半	女	2011.2.23	百日咳疑、気管支炎、スタックカート(+)、レプリーゼ(+)	鼻汁	2011.3.1
<i>Salmonella</i> Thompson(O7:k:1,5)	70代後半	女	2011.2.28		尿	2011.3.7

※ スタックカート:連続した「コン・コン・コン…」という短い咳  
 ウーブ:スタックカートの後の「ヒュー」という吸い込み発作  
 レプリーゼ:スタックカートとウーブのくり返し

○百日咳菌(*Bordetella pertussis*)に加え、他の *Bordetella* 属 (*Bordetella holmesii*) が分離されている。*Bordetella holmesii* は Lamp 法では検出できないが、*Bordetella* 属中にある特定の遺伝子(挿入配列 IS481)を検出する PCR 法を用いれば検出可能である。

## ■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 5 例が延岡 (2 例)、宮崎市・都城・高鍋 (各 1 例) 保健所から報告された。  
《宮崎市保健所》・30 歳代の女性で肺結核。咳、痰がみられた。  
《都城保健所》・60 歳代の女性で疑似症患者。胸痛がみられた。  
《延岡保健所》・70 歳代の男性で肺結核。体重減少がみられた。  
・80 歳代の男性で肺結核。  
《高鍋保健所》・60 歳代の女性で肺結核。
- 3 類感染症 : 報告なし。
- 4 類感染症 : 報告なし。
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 1 例が宮崎市保健所から報告された。40 歳代の男性で腸管アメーバ症。粘血便がみられた。

## ■ 全国第 8 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 34.0 で、前週比 101%であった。今週増加した主な疾患は伝染性紅斑と A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は R S ウイルス感染症とインフルエンザであった。

伝染性紅斑の報告数は 1,957 人 (0.62) で、前週比 122%と増加した。宮崎県 (2.8)、山形県 (1.8)、佐賀県 (1.7) からの報告が多く、年齢別では 3 歳から 6 歳で全体の約 6 割を占めた。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 7,910 人 (2.5) で、前週比 116%と増加した。石川県 (11.2)、宮崎県 (6.3)、福井県 (5.4) からの報告が多く、年齢別では 4 歳から 6 歳で全体の約半数を占めた。

インフルエンザの報告数は 77,751 人 (15.8) で、前週比 96%とほぼ横ばいであった。愛知県 (36.2)、山口県 (36.0)、大分県 (30.9) からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 30%、6-9 歳が 34%、10-14 歳が 19%、15-19 歳が 2%、20-50 歳代が 13%、60 歳以上が 2%を占めた。

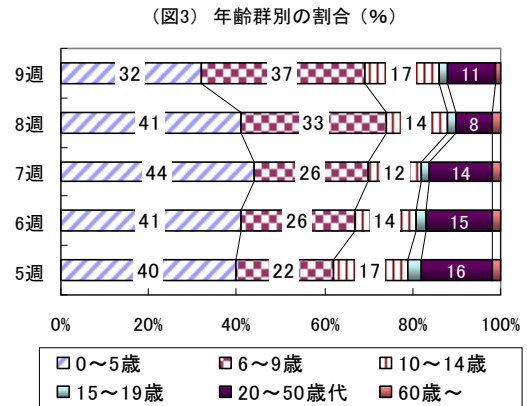
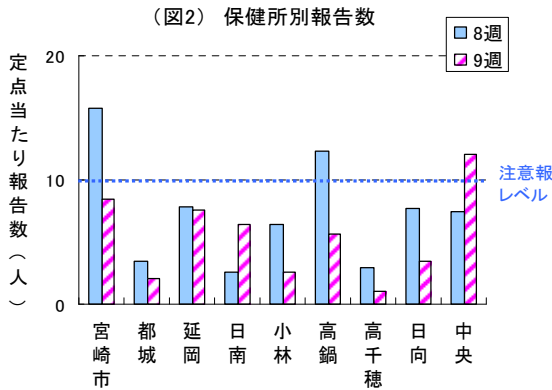
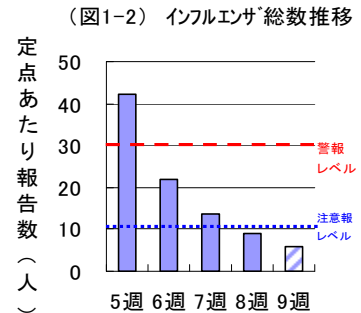
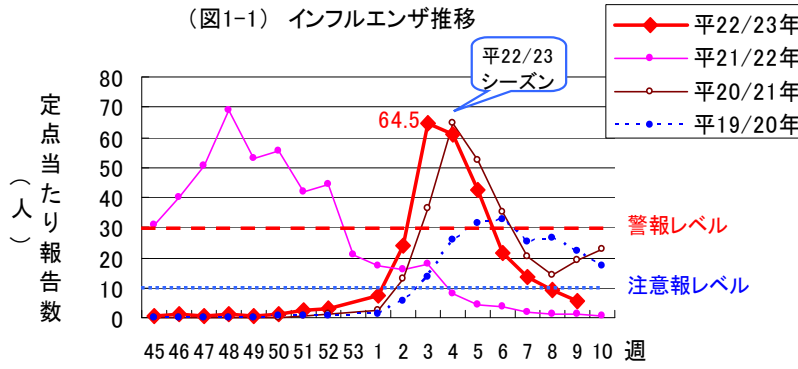
## □ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 352 例
- 3 類感染症 : 細菌性赤痢 12 例、腸管出血性大腸菌感染症 23 例
- 4 類感染症 : E 型肝炎 1 例、A 型肝炎 1 例、エキノコックス症 1 例、つつが虫病 1 例、マラリア 2 例、レジオネラ症 2 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 8 例、ウイルス性肝炎 2 例、急性脳炎 2 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 4 例、後天性免疫不全症候群 20 例、ジアルジア症 1 例、梅毒 7 例、破傷風 1 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 3 例、風疹 3 例、麻しん 4 例

# ■ インフルエンザ情報 《県内第9週、全国第8週（再掲）》

## □ 県内第9週インフルエンザ発生動向

平成23年2月28日～3月6日までの1週間で336人（定点あたり5.7）の報告があり、前週に比べ64%と減少した（図1-1,2）。中央（12.0）・宮崎市（8.5）・延岡（7.6）保健所からの報告が多く（図2）、年齢別では5歳以下が全体の32%、6-9歳が37%、10-14歳が17%、15-19歳が2%、20-50歳代が11%、60歳以上が1%を占めた（図3）。



## インフルエンザ 警報・注意報レベル状況

インフルエンザの定点あたり報告数と警報・注意報レベル発生状況

○: 警報レベル、△: 注意報レベル、- 警報・注意報レベルなし

保健所	今週 (第9週)		1週前 (第8週)		2週前 (第7週)		3週前 (第6週)		4週前 (第5週)		5週前 (第4週)	
	2/28~3/6		2/21~2/27		2/14~2/20		2/7~2/13		1/31~2/6		1/24~1/30	
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎市	8.5	-	15.8	△	18.4	△	24.4	△	38.6	○	50.0	○
都城	2.1	-	3.4	-	8.7	-	19.0	△	41.8	○	64.5	○
延岡	7.6	-	7.9	-	15.9	△	26.3	△	66.1	○	104.1	○
日南	6.4	-	2.6	-	9.4	-	18.2	△	31.0	○	65.4	○
小林	2.6	-	6.4	-	14.2	△	31.8	○	46.2	○	75.2	○
高鍋	5.7	-	12.3	△	10.7	△	12.7	△	32.8	○	45.7	○
高千穂	1.0	-	3.0	-	7.5	-	6.5	-	22.5	△	30.0	○
日向	3.5	-	7.7	-	15.8	△	20.8	△	42.3	○	42.2	○
中央	12.0	△	7.5	-	15.0	△	29.0	△	57.0	○	64.0	○

## □ 全国第8週インフルエンザ発生動向

平成23年2月21日～2月27日までの1週間で77,751人（15.8）の報告があり、前週比96%とほぼ横ばいであった。愛知県（36.2）、山口県（36.0）、大分県（30.9）からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の30%、6-9歳が34%、10-14歳が19%、15-19歳が2%、20-50歳代が13%、60歳以上が2%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2011年 第09週(02月28日～03月06日)

疾病名		第8週	第9週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	528	336	136	21	53	32	13	34	2	21	24
	定点あたり	8.95	5.69	8.50	2.10	7.57	6.40	2.60	5.67	1.00	3.50	12.00
RSウイルス 感染症	報告数	33	31	3	2	6			7	1	10	2
	定点あたり	0.92	0.86	0.30	0.33	1.50	0.00	0.00	1.75	1.00	2.50	2.00
咽頭結膜熱	報告数	25	12		6		3	1			1	1
	定点あたり	0.69	0.33	0.00	1.00	0.00	1.00	0.33	0.00	0.00	0.25	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	228	218	28	16	103	40	4	7		17	3
	定点あたり	6.33	6.06	2.80	2.67	25.75	13.33	1.33	1.75	0.00	4.25	3.00
感染性胃腸炎	報告数	707	727	140	160	106	89	82	40	19	65	26
	定点あたり	19.64	20.19	14.00	26.67	26.50	29.67	27.33	10.00	19.00	16.25	26.00
水痘	報告数	170	129	44	14	12	3	1	31	2	17	5
	定点あたり	4.72	3.58	4.40	2.33	3.00	1.00	0.33	7.75	2.00	4.25	5.00
手足口病	報告数	21	33	31					2			
	定点あたり	0.58	0.92	3.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	101	94	46	7	9	4		25	2		1
	定点あたり	2.81	2.61	4.60	1.17	2.25	1.33	0.00	6.25	2.00	0.00	1.00
突発性発しん	報告数	42	22	5	2	4	2	1	3		4	1
	定点あたり	1.17	0.61	0.50	0.33	1.00	0.67	0.33	0.75	0.00	1.00	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	1		1							
	定点あたり	0.03	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	58	78	34	9	3	29				2	1
	定点あたり	1.61	2.17	3.40	1.50	0.75	9.67	0.00	0.00	0.00	0.50	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	13	16	16								
	定点あたり	2.17	2.67	5.33	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数		1						1			
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第1週～9週)

2類感染症	結核	48例(5)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4例			
4類感染症	つつが虫病	1例			
5類感染症	アメーバ赤痢	3例(1)	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎
	梅毒	1例	破傷風	1例	3例

●動物感染症累積報告数(2011年1週～9週)(参考)

指定感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類	15例
-------	-------------------	-----

( )内は今週届出分、再掲